

鞍山梓月 しげき 俳人。明治十一年一月十日東京生れ、昭和二十二年四月二十八日歿（二七八一—一九五五）。舊姓生村、本名仁三郎。別號不易大、俳書堂主人、宗仁、庭後、庭後子、庭後庵、恬本庵、扇谷隱士、松泉庵、梓月庵、江右庵、江右庵庭後、滄東、菊柏亭、鞍山庭後等。慶應義塾理財科卒。初の舊派の田邊檢一に學び、のち止岡子規、心蘭等。俳書堂・鞍山書店を經營し、大正五年永井荷風等と雜誌『文明』を、翌年いは『俳諧雜誌』を創刊。また二田俳句會、交詢社俳句研究會を指導した。

編著書 『俳諧手帳』（本名、編、明治二十九年一月）『俳書堂鞍山書店』、南新（著）『經妙集』（同、編、明治四十年十一月十五日鞍山書店）、『蓮句作例』（俳書堂主人名、編、明治四十一年六月五日俳書堂）『俳書堂主人名』（同、編、明治四十一年六月五日俳書堂）『俳書堂主人名』（同、編、明治四十一年六月五日俳書堂）『鞍山書店』、『江戸庵句集』（同、大正五年一月十一日鞍山書店）、

『大正校訂俳諧名著文庫』（校訂、五・嘉會室享編『新五十子稿』俳書堂主人名、大正五年六月十日、七・大野桃鄰『陸奥千鳥』鞍山庭後名、八月二十日俳書堂）、『校訂俳諧古典集・第一輯（去來抄）』（校訂、大正十五年四月二十日俳書堂藏版、友善堂）、『蓮句入門』（大正十五年七月十日俳書堂）、『紅潤集』（編、昭和八年二月五日交詢社俳句研究會）、鎌田泉吉著『蟬時雨』（本名、編、昭和九年四月二十九日交詢社俳句研究會）、『冬うぐいす』（昭和十一年八月十五日春泥社）、龍雨遺稿『遠神樂』（編、昭和十二年七月二十一日不易發行所）、『冬扇』（昭和二十九年十一月一日不易發行所）等。

『大正校訂俳諧名著文庫』（校訂、五・嘉會室享編『新五十子稿』俳書堂主人名、大正五年六月十日、七・大野桃鄰『陸奥千鳥』鞍山庭後名、八月二十日俳書堂）、『校訂俳諧古典集・第一輯（去來抄）』（校訂、大正十五年四月二十日俳書堂藏版、友善堂）、『蓮句入門』（大正十五年七月十日俳書堂）、『紅潤集』（編、昭和八年二月五日交詢社俳句研究會）、鎌田泉吉著『蟬時雨』（本名、編、昭和九年四月二十九日交詢社俳句研究會）、『冬うぐいす』（昭和十一年八月十五日春泥社）、龍雨遺稿『遠神樂』（編、昭和十二年七月二十一日不易發行所）、『冬扇』（昭和二十九年十一月一日不易發行所）等。